

請願第1号

2025年8月28日

北上市議会議長

菊池 勝 様

請願者

岩手県花巻市四日町三丁目13-10

岩手県教職員組合花北遠野支部

支部長 多田 啓

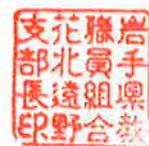
0198-23-5234

岩手県北上市柳原町三丁目13-10

岩手県教職員組合花北遠野支部和賀支会

支会長 岡本 信

0197-64-7311



紹介議員

平野 明 紀

原 利 光

高橋 久美子

「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書提出の請願書



1 請願の趣旨

現在、国の中央教育審議会「教育課程企画特別部会」において、10年に一度見直しが行われる次期学習指導要領改訂に向けて議論が行われており、2025年度秋までに次期学習指導要領についての大枠の方向性を示し、2026年度中に答申・改訂を行うとしています。

文部科学省の調査（2024年12月）において、小・中・高を合わせると41万人を超える不登校の子どもの数が報告され、特別支援学級や特別支援学校に在籍する子どもたちの数も、過去最多を記録しています。この一因として、この間の学習指導要領が改訂の度に内容が難しくなるとともに、教科書のページ数も増えており、子どもたちの負担になっていることも考えられます。また、学校現場では慢性的な教職員不足も続いており、子どもたちのゆたかな学びを保障するための教材研究や授業準備の時間を十分に確保することが困難な状況となっています。

学習指導要領の改訂は、子どもたちのゆたかな学びの保障や、教職員の「働き方改革」に大きくかかわります。「カリキュラム・オーバーロード」（国の教育課程基準に基づき、学校が定めた教育課程の時数と内容が過多になっていて、子どもや教職員に過大な負担がかかっている状態）等を改善することが喫緊の課題です。このため、次期学習指導要領の内容の精選や、標準授業時数の削減が強く求められます。

つきましては、次の事項が実現されるよう、地方自治法第99条の規定に基づき国の関係機関への意見書提出を請願いたします。

2 請願事項

子どもたちのゆたかな学びを保障するため、「カリキュラム・オーバーロード」の早期改善のため、学習指導要領の内容の精選等を行うこと。

3 要請先

衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣

財務大臣

総務大臣

文部科学大臣